

2006年(平成18年)5月1日(月曜日)

不断水内視鏡で新協会

関連20社

会長代行に増山氏(西華産業)

不断水内視鏡カメラの普及を目指す「全国水道不断水内視鏡調査協会」の設立

総会が24日、明石市のホテルキャスルプラザに会員各社の代表など約50名を集めて開催され、18年度事業計画などを承認するとともに、役員を選出を行なった。会長は当面空席で、会長代

行には西華産業の増山敦雄環境開発部長が就任した。

総会では、設立趣意書発表ののち、役員選出に移り、増山会長代のほか、副会長に灰本靖彦・MANIX取締役、濱田康義・浜田工業社長、専務理事に山本政和・日本水機調査社長が就任した。会長については、就

任予定者の就任時期が諸般の事情で遅れるため、当面空席とし、会長代行がその間の会長の職務を代行する。

議案の審議では▽18年度事業計画▽同予算案▽協会規約などを審議し、それぞれ承認した。事業計画では、総務部会関係の事業と

して会員数増加活動、広報活動(長崎研究発表会でのカタログ展示、秋田水道展への出展ほか)など。事業部会関係の活動として検査報告書の作成業務(目標100件)、不断水内視鏡技能講習会などを予定している。

会員は、正会員、賛助会員、特別会員の三種類があり、当初からの参加企業は正会員14社、賛助会員4社の合計20社。今後順次会員数を拡大し、協会としての基盤の強化を図る。